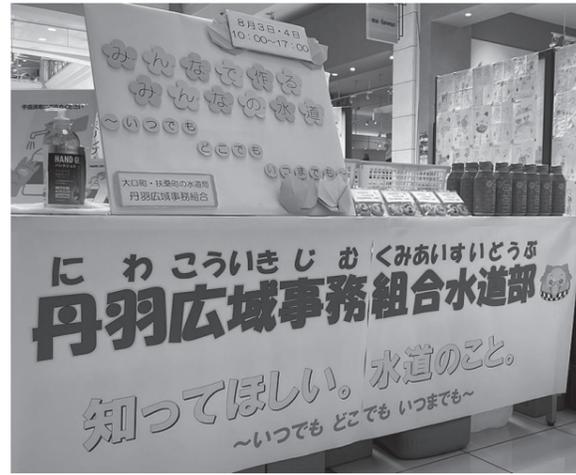


住民活動紹介コーナー

政策調整課 内線 317 1階 9番窓口

8月3・4日、地域活動団体と丹羽広域事務組合水道部とボランティア団体が協働して開催したイベントです。

イオンでわくわく♥素敵な出会い



丹羽広域事務組合水道部は、水道事業の現状と課題、将来見通しなどを一人でも多くの方に知っていただき、これからの水道について一緒に考えていただくための水道PR活動を行いました。

水道管の老朽化や施設の耐震化、今後の水道料金など、水道事業が直面する様々な課題について、会場に資料や写真のパネルを展示しました。

アンケートでは水道に関するいろいろなご意見をいただきました。アンケート結果はホームページで公開していますので、ぜひご覧ください。

また、会場には丹羽郡の保育園、幼稚園の年長さんが描いた、かわいいイラストも展示しました。イラストをプリントした手作りクッキーはとても好評で、「あいちの水」と一緒に、ご来場いただいた方全員にプレゼントしました。

イベントに参加していただいた方々、ご協力ありがとうございました。



SDGs 木曾川流域の地産地消を楽しむ会は、地域住民・企業・行政など様々な人々と共に、扶桑緑地公園エリア内の木曾川河畔での竹林伐採や清掃活動などのアダプト活動や早朝のラジオ体操などのミズベリング活動（新しい水辺の活用の可能性を切り開くための官民一体の協働プロジェクト）を行いながら、「SDGs」の17の課題解決に積極的に取り組む扶桑町住民ボランティア団体です。

出店イベント時には、これまでの活動の様子を撮影した写真やミズベリングポスターに興味をもってくださった多くの方にお立ち寄りいただきありがとうございました。

当会では、ミズベリング活動に参加いただける方を大募集しています！^{いし}古より私たちの町に様々な恵みをもたらし続けてくれる木曾川の新たな価値を見出し、扶桑町の「顔」、そして「誇り」となる水辺空間の形成を私たちと一緒に目指しませんか？



ボランティア団体笑夢は、「年齢」「性別」「能力」にかかわらず、誰でも参加できる「居場所としてのサロン」創設に向け、自力で資金を生み出すために「絹工房笑夢」を立ち上げ、笑夢のサロン等で創作した作品を展示・販売しています。



8月3・4日も、障がい者アートと高齢者の手仕事をコラボさせた作品や障がい者アートのついた「フォーピークッキー」等を販売しました。開催中も、多くの方にお声を掛けていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

笑夢の活動にご参加いただける方を募集中です。活動内容は笑夢のホームページをご覧ください。手仕事や販売活動に興味がある方もホームページからお問い合わせいただければ幸いです。



社会生活基本調査を実施します

産業環境課 内線 273 1階 6番窓口

総務省統計局では、10月20日現在で社会生活基本調査を実施します。

この調査は、わたしたちが1日のうちどのくらいの時間を仕事、家事、地域での活動などに費やしているかや、過去1年間の自由時間にどのような活動を行ったかについて調査し、その結果は、ワーク・ライフ・バランスの推進、少子高齢化対策、男女共同参画社会の形成などの施策に必要な基礎資料となります。

調査対象は、無作為に選ばれた全国の約91,000世帯（そのうち愛知県は約3,300世帯）で、10歳以上の世帯員の皆さんです。

調査をお願いする世帯には、10月上旬から中旬にかけて、知事が任命した調査員が伺い、調査書類をお配りします。皆さんに、より便利に御回答いただくため、紙の調査票での回答のほか、インターネット回答が可能となっていますので、調査の趣旨を御理解いただき、御回答をお願いします。

▼問い合わせ 愛知県民生活部統計課 ☎ 052 (954) 6116

丹羽消防署

119番

119番通報のしかた

あなたは落ち着いて通報することができますか？

火災、救急、救助は1分、1秒を争います。

消防本部にとって119番通報は、今起きている災害発生場所や概要を知る唯一の手がかりです。

現在扶桑町内の加入電話や公衆電話から119番に通報した場合、すべて小牧市内の尾張中北消防指令センターにつながり、指令センターでは通報の内容に応じて現場に最も近い署や出張所での消防隊や救急隊を編成するため、通報の際の迅速かつ正確な情報が必要になってきます。

火災通報の注意事項

- 慌てずに落ち着いてゆっくりと。
- 何が燃えているか、はっきりと伝えましょう。
- 住所が分からない場合、近くにいる人に聞か、周りにある店や会社などを探してください。



救急通報の注意事項

- 傷病者（病気・ケガをした人）の状態を落ち着いて伝えてください。
- 交通事故で車内に閉じ込められているような時は、救急車と同時に消防車が救助出動しますので、状況を確認してください。
- 住所と状況を確認できればすぐ救急車に出動指令を行います。まずは落ち着いて、詳しい状況を伝えるようにしてください。



落ち着いて係員の質問に答えることが最も効率の良い通報です。

結果的に聞き取り短縮につながりますので、ご協力をお願いいたします。

◆119番(例)

指令センター	通報者
はい、消防119です。 火事ですか？ 救急ですか？	救急です。
場所はどこですか。	△△町〇〇の××です。 ◇◇商店の近くです。
どうしましたか。	例1：トイレに行く途中で突然倒れました。 例2：車同士の交通事故で、けが人が〇名いるようです。
どんな様子ですか。	例1：倒れたままイビキをかいていて、揺すっても反応がありません。 例2：40歳代の男性2人が、頭から血を流し、道路脇に座って警察官と話しています。もう1台の車の運転手は、何かに挟まって、車外に出られないようです。
病歴やかかりつけの病院を教えてください。	例1：5年前に〇〇病院で、脳梗塞の手術を受け、1年ほど入院しました。今も月に1回通院しています。 例2：3年前に心筋梗塞で、△△病院に入院したことがありますが、今は、通院など特にしていません。
最後に、あなたのお名前をお願いします。	〇〇〇〇です。

▼問い合わせ 丹羽消防署 ☎ (95) 5151